

平成29年度

でーじわかりやすい！
よさんのはなし



これ！
でえーじ
わかり
やすいぜ！

エイ坊
(沖縄市エイサーキャラクター)

平成29年6月

沖縄市

でーじわかりやすい！ よさんのはなし

も く じ

1. よさんって何? 1
2. 一般会計のはなし【収入編】 3
3. 一般会計のはなし【支出編】 5
4. 特別会計のはなし 7
5. 今年のまちづくり 8
6. よさんが分かった♪ 28

1. 「よさん」って何??

日直さーちゃん

6月13日 (火)

「よさん」って何のことかわかるかのお？
漢字で書くと「予算」。少し難しいイメージもあるし、自分には関係ないと思うだろう？
しかしこの「予算」というものは、わしらが生活していくうえでは、とても大事なもののじゃ。
だから、少し「予算」について勉強をしてみよう。



エイ坊



さなじい

Question!!



で、「予算」って何なの？



「予算」とは、1年間の「収入」（入ってくるお金のこと）と「支出」（使うお金のこと）を計画してまとめたものじゃ。

みんなの生活を豊かにするために、市役所が色々な仕事を行うためには、1年間でどれだけのお金が入ってきて、どれだけのお金が使えるかを、しっかりと計画しないとイケないのじゃ。



「予算」はどうやって決めるの？



市役所の担当者が、市民みんなの意見や提案などを聴いた上で、市長と一緒に話し合いながら、1年間に行う市民への行政サービスをしっかりと考えて、そのサービスに必要な予算の案を作るのじゃ。

そうして出来上がった予算案を、市長が「沖縄市議会」に提案し、市議会議員のみなさんとしっかりと話し合いを行って、そこで認められれば正式な予算として決まるのじゃ。

市長も市議会議員も、選挙によって選ばれた人たちなので、市民の代表者が、沖縄市の「予算」を決めているということじゃな。

Question!!



沖縄市の「予算」はいくらなの？



今年の（平成29年度）沖縄市の予算額は次のとおりじゃ。

① 一般会計予算	691億1700万円
② 特別会計予算	401億6334万円
合計額	1092億8034万円



「一般会計」と「特別会計」って？



沖縄市の「予算」には、「一般会計」と「特別会計」の2種類の予算があるのじゃな。

少し難しくなるが、それぞれの説明は次のとおりじゃ。

- ◎一般会計 → 福祉や教育、道路の整備など、市役所の基本的なサービスを行うための予算
- ◎特別会計 → 特定の事業を行うために、一般会計とは区別して管理している予算（詳しくは7ページ）



ここまで「予算」について、いろいろ勉強してきたが、まだまだ分からないことがたくさんあるじゃろう。

次のページからは、「一般会計」の予算の中身について、もう少し詳しく勉強してみよう！！

少しづつ
わかってきたやっさ～



2. 一般会計のはなし 【収入編】

市の収入について



まずはじめに、沖縄市の収入について勉強してみよう。



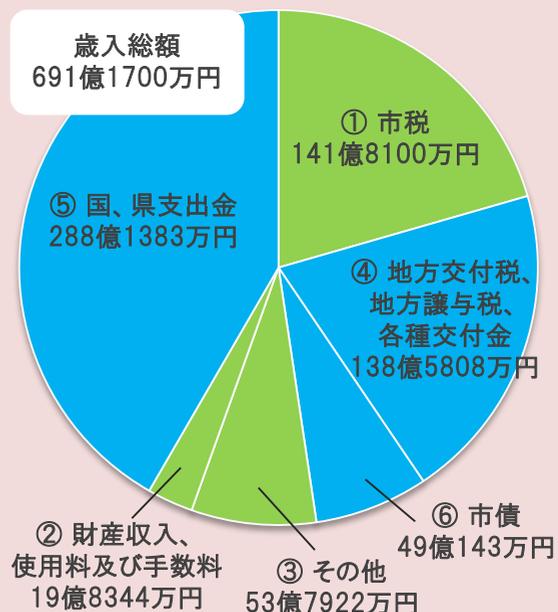
収入ってなんだったっけ??



収入とは、入ってくるお金のことじゃ。そして、1年間に入ってくるお金をまとめたものを「歳入予算」というのじゃ。

それでは、今年の一般会計の歳入予算をみてみよう。

平成29年度 一般会計歳入予算



歳入の各項目の説明

財源区分	項目	説明
自主財源	①市税	市民が沖縄市に収める税金です。
	②財産収入、使用料及び手数料	市の土地等を貸した際の賃料や、市の施設の利用料、証明書を発行する際にいただいたお金などです。
	③その他	市の貯金（基金）からの取り崩しや、寄付金などです。
依存財源	④地方交付税、地方譲与税、各種交付金	みなさんが国や県に納めた税金のうちの一部です。市での使いみちは自由になっています。
	⑤国、県支出金	みなさんが国や県に納めた税金のうちの一部です。市での使いみちが決まっています。
	⑥市債	国や民間の金融機関などから借り入れるお金です。

これが、沖縄市の1年間の歳入じゃ。1年間で691億円余りのお金が入ってきているのじゃな。ちなみに、自主財源とは、沖縄市が自力で調達できるお金で、依存財源は沖縄市以外の組織に頼っているお金のことじゃな。



沖縄市にはたくさんの収入があって、僕らの税金や、僕らが沖縄市の施設を使った時の利用料金以外にも、国や県からもらえるお金や、国や銀行からの借金などがあるんだね！少し難しかったけど、よ〜く分かったよ♪

借金（市債）について



ところでさあ、さっきの歳入予算の中で、国や銀行などからお金を借りている「市債」ってあったけど、これって「借金」のことかなあ？



まあ、簡単にいうと、そのようなものじゃな。



こんなに借金して大丈夫なの！！？



学校などの大きな建物を作る時には、たくさんのお金が必要になるのじゃ。建物を作る年に、1年間に入ってくるお金から、1年間に行う仕事に使うお金を除くと、どうしても足りないことがあるのじゃ。そのような時に、借金をしてお金を準備しているのじゃ。

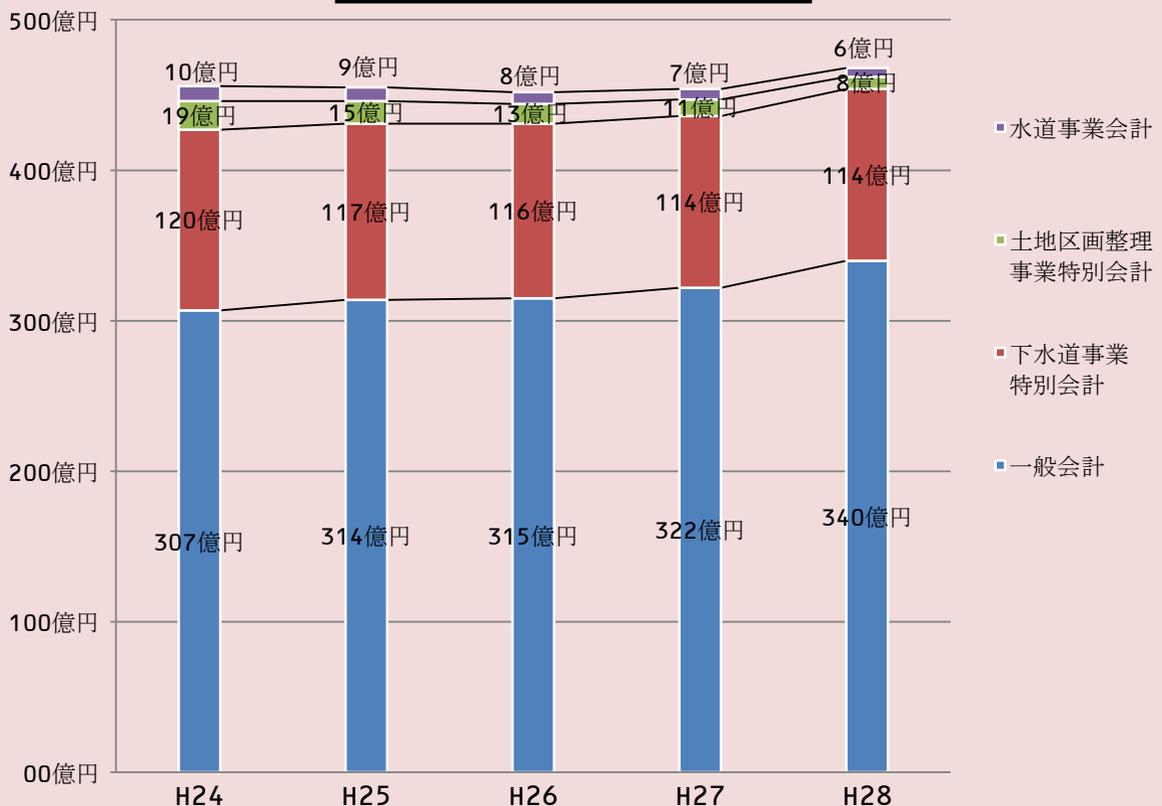
また、その他にも理由があって、学校などの大きな建物は何十年もみんなが使うものだから、今使う人だけじゃなくて、これから使う人も含めて、みんなで平等にお金を負担してもらうために、借金をしているのじゃ。

だから、借金をするには理由があって、悪いことだけではないのじゃな。



なるほど！そういうことだったんだね！納得したよ♪

市債残高の状況



3. 一般会計のはなし 【支出編】

市の支出について（目的別）



収入の次は「支出」の勉強かな？でていくお金だよな？

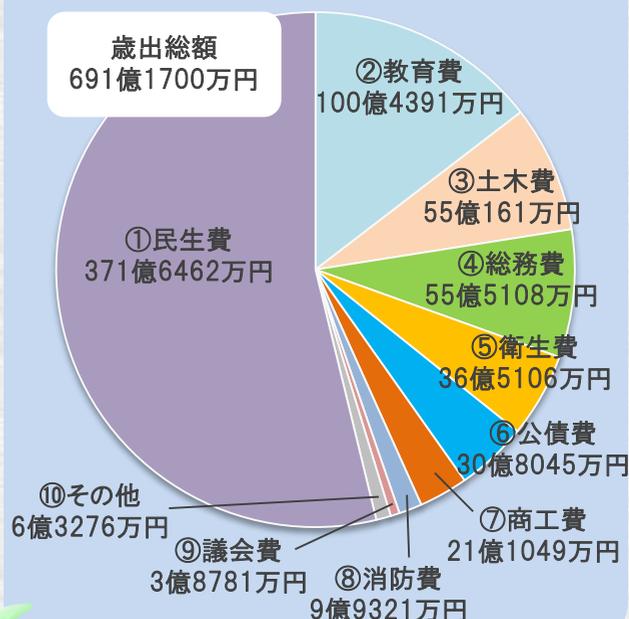


そのとおりじゃよ。そして、1年間に使うお金をまとめたものを「歳出予算」というのじゃ。

また、歳出予算には、「目的別」と「性質別」の見方がある。

まずは、お金を使う目的ごとに分けている「目的別」の歳出予算をみてみよう！

平成29年度 一般会計歳出予算（目的別）



歳出（目的別）の各項目の説明

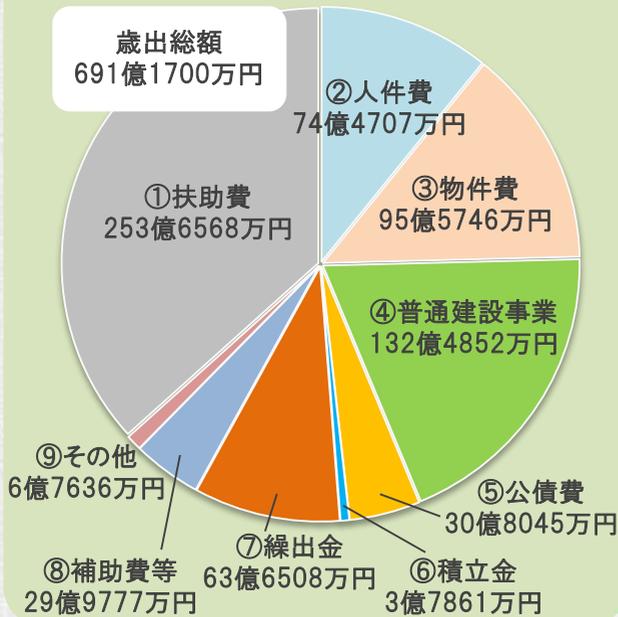
①民生費	子どもや老人、障がい者が安心な生活を送るためなどに必要な福祉に使うお金です。
②教育費	学校の教育や図書館・博物館の運営、スポーツの振興などに使うお金です。
③土木費	道路や公園、市営住宅などを作ったり、修理したりするお金です。
④総務費	税金の徴収や市庁舎の管理、財産の管理など、市役所を運営するためのお金です。
⑤衛生費	ごみの収集や医療・保険など、市民の生活や健康を守るためのお金です。
⑥公債費	国や金融機関などから借りている市の借金（市債）を返すためのお金です。
⑦商工費	商店街や企業の支援や観光の振興、まつりの開催などに使うお金です。
⑧消防費	火事・台風や、怪我・事故などから、市民の命や財産を守るために使うお金です。
⑨議会費	議会を開催したり、議員のみなさんの給料を払ったりするお金です。
⑩その他	他にも「農林水産費（農業や漁業などの支援）」「労働費（働く人の支援）」「災害復旧費（災害の被害から復旧するための費用）」などがあります。



市役所の仕事を目的別に大きく分けるとこのようになるのじゃ。その中でも、子どもやお年寄り、障がい者のために行う仕事に約半分のお金が使われていて、教育や道路・公園などに使うお金も結構大きいのじゃな。

市の支出について（性質別）

平成29年度 一般会計歳出予算（性質別）



次は「性質別」の歳出予算だね！でも、性質別って？
なんだか分かりにくくなあ…？



教育に使う予算や消防に使う予算など目的が違う予算の中でも、職員の給料や事務用品の購入代金などお金の使いみちが同じ性質のものがある。そのような見方でお金を分けたものが「性質別」じゃ。では、「性質別」の歳出予算をみてみよう。

歳出（性質別）の各項目の説明

①扶助費	医療や福祉など、生活を助けるために必要な支援にかかるお金です。
②人件費	市の職員や議員、各種委員に払う給料や報酬などにかかるお金です。
③物件費	光熱水費（電気・水道等）や消耗品費（事務用品等）などにかかるお金です。
④普通建設事業	市の建物や道路、公園などの建設にかかるお金です。
⑤公債費	国や金融機関などから借りている市の借金（市債）を返すためのお金です。
⑥積立金	特定の目的のためにある市の貯金（基金）への積み立てにかかるお金です。
⑦繰出金	一般会計から特別会計等への支出にかかるお金です。
⑧補助費等	他の組織への補助金や負担金などにかかるお金です。
⑨その他	他にも「維持補修費（公共施設の維持や修理にかかるお金）」「予備費（緊急に必要となったことにかかるお金）」があります。

沖縄市の一年間の支出をまとめた歳出予算には、目的別と性質別があって、それぞれ違う角度からみることで、市がどのようなことにお金を使っているのか、どのようなことに力を注いでいるのかが分かるのじゃな。



沖縄市が市民のために行う仕事には、これだけ多くの予算が使われているんだね。歳出予算のそれぞれの項目は少し難しいけど、僕たちの暮らしに関わっているお金だから、これからも興味をもって勉強してみるよ♪

4. 特別会計のはなし

特別会計の種類と今年の予算額について



さて、次は「特別会計」のはなしじゃ。



特別会計ってのは確か...「特定の事業を行うために、一般会計とは区別して管理している予算」だったよね。何で分けて管理するの？



分けて管理する理由を簡単に言うと、その特定の仕事をする時に、他の仕事に使うお金とは分けて管理した方が分かりやすかったり、仕事の責任が明確になるからじゃ。

沖縄市が特別会計として管理している予算は次のとおりじゃ。

土地区画整理事業特別会計

予算額：4億8299万円

美里第二地区の土地区画整理事業（道路、公園等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え、宅地の利用の増進を図る事業）を行うための会計

国民健康保険事業特別会計

予算額：216億5374万円

国民健康保険制度（国民を対象として、病気や怪我、出産、死亡に関して、必要な保険料が給付される制度）を運営するための会計

介護保険事業特別会計

予算額：94億443万円

介護保険制度（寝たきりなどで介護が必要な高齢者などの治療や、介護にかかる費用を社会全体で支える制度）を運営するための会計

後期高齢者医療事業特別会計

予算額：12億2975万円

後期高齢者医療制度（75歳以上の高齢者などの医療費を社会全体で支える制度）を運営するための会計

下水道事業特別会計

予算額：28億863万円

公共下水道の整備や管理など、下水道に関する仕事を行うための会計

水道事業会計

予算額：45億8380万円

沖縄市水道局が行う水道に関する仕事を行うための会計

特別会計も
わかった！



5. 今年のまちづくり

沖縄市の今年のまちづくりについて

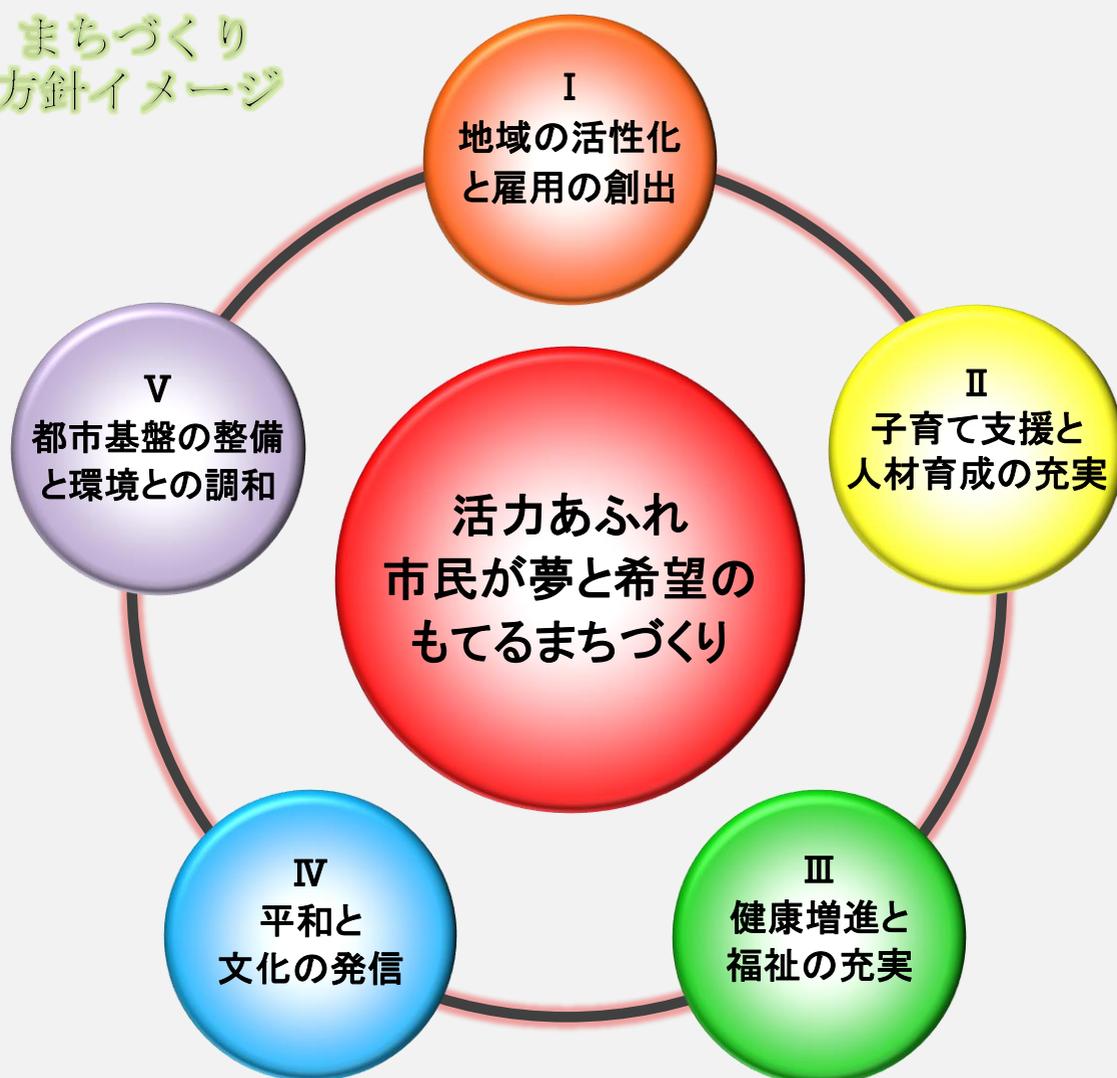


最後にまとめとして、これまで勉強した沖縄市の予算が、どんな事に使われるのかを勉強してみよう。沖縄市では「活力あふれ・市民が夢と希望のもてるまちづくり」をめざして、5つの重点的な方針に沿ってまちづくりを進めているのじゃ。 次のページから具体的な例をみていくぞ。



5つの重点的な方針?! 少し難しそうだけど、予算についていっぱい勉強もしたし、少しはわかるかも。最後まで頑張ってみよう♪

まちづくり 方針イメージ



I 地域の活性化と雇用の創出

多目的アリーナ整備事業（予算額：約1億9855万円）

琉球ゴールデンキングスのホームアリーナとしての活用や、これまで見る事が出来なかったようなコンサート等を開催できる一万人規模の多目的アリーナの建設を進めています。

県外からも観光客が訪れる本市のランドマークとなるような施設を整備していきます。



（仮称）沖縄サーキット整備事業

（予算額：約3839万円）

モータースポーツを沖縄市の新たな観光資源とするため、サーキット整備に向けた計画を作っていきます。

モータースポーツの楽しさを多くの人に知ってもらうため、「コザモータースポーツフェスティバル」を開催します。



I 地域の活性化と雇用の創出

エイサー会館事業 (予算額：約5億7983万円)

エイサーの保存・継承と観光活用を図る拠点の形成を目的とし、沖縄市におけるエイサー文化や沖縄全島エイサー等の情報展示、エイサー演舞体験等を行なうための施設をコザミュージックタウン内に整備していきます。



エイサーのまち宣言10周年記念事業

(予算額：約607万円)

平成19年6月13日に「エイサーのまち宣言」をしてから10周年の節目にあたることから、PRグッズを製作・配布し、周知を行ないます。また、エイサーイベント、エイサー写真展を開催し、節目の年を盛り上げ、「エイサーのまち沖縄市」のPR活動を行ないます。

沖縄市エイサーキャラクター



エイ坊



サーちゃん



たーくん



さなじい

I 地域の活性化と雇用の創出

スポーツコンベンション推進事業

(予算額：約3388万円)

F C琉球や琉球ゴールデンキングスのホームタウンとしてチームと協力しながら応援を盛り上げ、ファンの拡大・ホームゲームへの誘客に努めています。

また、広島東洋カープをはじめとするスポーツ合宿やスポーツイベントの誘致・受入を積極的に行い、まちのにぎわいにつなげていきます。



(仮称) 多目的広場整備事業

(予算額：約10億6801万円)

コザ運動公園内にある屋内練習場の代替施設として、炎天下や雨天時にも屋外スポーツが十分に行える屋根付きの運動広場を整備します。天候に影響されずに屋外スポーツが行えるため、市民の健康増進や競技力の向上が図られるほか、災害時には救援物資庫としての役割も果たす多目的広場となります。



I 地域の活性化と雇用の創出

創業・起業総合支援事業（予算額：約5984万円）

新しくビジネスを始めたい方のために、沖縄市一番街商店街の中にある「スタートアップカフェコザ」で、ビジネスの内容や方法、必要なお金の集め方などについての相談・アドバイスをを行います。

また、コンピュータやインターネットを使ったお仕事ができるようになるための勉強や、3Dプリンタやレーザーカッターなどを使った新しいものづくりも体験できます。



東部海浜地区開発事業（予算額：約4288万円）

スポーツコンベンション拠点の形成を目指す土地利用計画の早期実現にむけて、平成29年度は人工島の魅力向上を図るため、人工島の景観計画の検討やスポーツ医科学の誘致に関する可能性調査を行います。



Ⅱ 子育て支援と人材育成の充実

こども医療費助成事業（予算額：約4億5113万円）

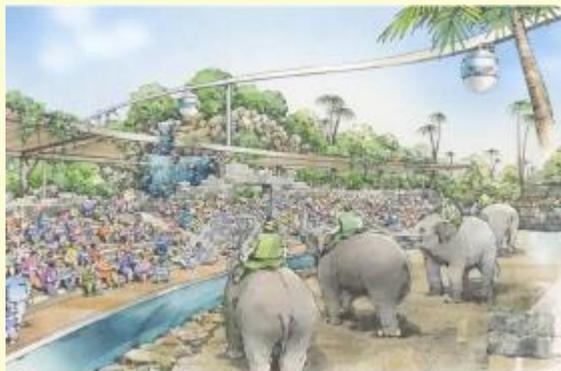
こどもたちが元気で丈夫に育つことを願って、保護者が病院で支払う医療費の一部を沖縄市が助成するものです。

通院費の助成は0歳から小学校3年生まで、入院費の助成は0歳から中学卒業までを対象としています。



沖縄こどもの国整備事業（予算額：約7億887万円）

沖縄県内で唯一の本格的な動物園である「沖縄こどもの国」の区域を広げ、動物に関することや自然科学など、色々なことを楽しみながら学ぶことができるよう整備することで、県外や国外からも多くの観光客を誘客できるような、日本一ユニークな施設にしていきます。



Ⅱ 子育て支援と人材育成の充実

認可外保育施設認可化移行支援事業

(予算額：約2億1888万円)

待機児童（認可保育所に入所できないこどもたち）の解消に向けた取り組みとして、認可を目指す認可外保育施設に対し、運営費や施設整備の補助を行うことで、速やかに認可保育所へ移行できるよう支援を行っています。



私立保育所施設整備事業 (予算額：約20億1686万円)

待機児童（認可保育所に入所できないこどもたち）の解消に向けて、私立保育所（認可保育所）の定員増を伴う建替えや、分園設置等の施設整備にかかる費用の一部を補助することにより、私立保育所の整備・促進を図っています。



Ⅱ 子育て支援と人材育成の充実

地域型保育事業（予算額：約1億9688万円）

0歳児から2歳児までのお子さんを少人数（6人～19人）で預かる施設で、家庭的な保育に近い雰囲気のもとで、きめ細やかな保育を行うことができる小規模保育事業所等の整備促進を図っています。



児童館等整備事業（予算額：約4億6163万円）

児童館は、児童福祉法に基づく児童厚生施設で、児童の遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、こどもを心身ともに健やかに育成することを目的とした施設です。

今後、1中学校区ごとに児童館機能を備えた施設の設置を目指します。



Ⅱ 子育て支援と人材育成の充実

高原小学校校舎新增改築事業

(予算額：約14億4667万円)

高原小学校の校舎は昭和45年から昭和61年にかけて建てられましたが、校舎が狭く、多くの建物が古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所になっていることから、こどもたち、市民のみなさんの安全を確保するためにも建て替えられることになりました。

平成30年4月から新しい学校でのスタートを予定しています。



美東中学校校舎新增改築事業

(予算額：約10億7259万円)

美東中学校の校舎は昭和52年から平成4年にかけて建てられましたが、校舎が狭く、多くの建物が古くなっていることや、地震などの災害が発生した場合の避難場所になっていることから、こどもたち、市民のみなさんの安全を確保するためにも建て替えられることになりました。

平成31年4月から新しい学校でのスタートを予定しています。



Ⅲ 健康増進と福祉の充実

特定健康診査・特定保健指導事業

(予算額：約1億291万円)

カロリーの高い食べ物を食べすぎる、タバコを吸う、お酒を飲みすぎる...などの身体に悪い影響を与える生活を続けていると、将来『生活習慣病』という病気になる可能性があります。『生活習慣病』には、肥満や高血圧、糖尿病などがあり、悪化すると心筋梗塞や脳卒中などで死に至ることもあります。その『生活習慣病』を予防するためには、普段の生活習慣を見直すことが1番の良い方法です。

沖縄市では体重測定や血液検査、保健指導が無料で受けられる特定健康診査や特定保健指導を行っており、市民一人一人が生活習慣を見直し、健康に過ごせるようサポートしています。



地域包括支援センター事業 (予算額：約1億4223万円)

高齢者の皆さんが住み慣れた沖縄市で暮らし続けるために、地域包括支援センターでは、65歳以上の高齢者の皆さんとご家族の介護や健康、生活など様々な困っていること、悩んでいることに対し、保健師や社会福祉士、主任介護支援専門員の専門職種が相談や必要な支援を行っています。



平成29年度からは、よりきめ細やかな支援が行えるよう、市内7か所に地域型地域包括支援センターを設置しました。

Ⅲ 健康増進と福祉の充実

障がい者基幹相談支援センター運営事業

(予算額：約2210万円)

障がいのある方やご家族が気軽に相談できる体制作りと、支援のネットワーク構築を通して、誰もが住みやすい地域づくりの発信地を目指して取り組んでいます。

たとえば...

- 相談にはつながっているが、なかなか解決できない事例への対応
- 相談支援事業所への専門的指導・助言
- 相談専門員の人材育成支援
- 地域生活を支えるための地域のネットワーク作り・コーディネート
- 関係機関（学校・福祉サービス事業所等）からの相談対応
- 沖縄市障がい者自立支援協議会の運営

※自立支援協議会とは、障がい者等が地域で安心して生活できる支援体制を構築するため設置されている協議会です。



Ⅲ 健康増進と福祉の充実

生活困窮者自立支援事業（予算額：約9231万円）

『自立相談支援』：生活保護に至る前の生活困窮者に対して、相談窓口を設置して本人が抱える課題を受け止め、包括的な支援計画を作成し、自立までの継続的な支援を行います。

また、複合的な問題を抱える生活困窮者を早期に把握するために関係機関のネットワークづくりを目指します。



『住居確保給付金』：離職により住宅を失った又はそのおそれが高い生活困窮者であって、所得等が一定水準以下の者に対して、有期で住居確保として給付金（家賃）を支給します。

『一時生活支援』：沖縄市を現在地とする住居を持たない生活困窮者を対象に、一時的に安全な居場所を確保し、安定した生活を取り戻すために必要な支援を行います。

『就労準備支援』：沖縄市内の生活困窮者で、すぐに仕事に就けない方に対して就労セミナー等を行い、自立に向けた支援を行います。



『学習支援事業』：沖縄市内の被保護世帯のこども、並びに準要保護者のひとり親世帯のこどもに対し、高校進学に向けた学習支援を行います。

IV 平和と文化の発信

戦後文化資料等展示事業（予算額：約1億9497万円）

沖縄市は全国的にも極めて個性的な戦後史を歩み、ユニークな文化を育んできました。この戦後史（文化）をまちづくりに活かそうと、沖縄市では商店街（パルミラ通り）にヒストリート・ヒストリートⅡという空き店舗を利用した展示室を設けました。ヒストリートでは常設展と年に数回の企画展を開催するとともに、「KOZA BUNKA BOX」という戦後情報誌を発刊して本市の戦後歴史文化情報を発信しながら、市民をはじめ、修学旅行生、大学関係者、観光客等を商店街に誘客し、中心市街地の活性化を図ります。

平成29年度は、資料展示室等の拡充を目的に、新たなヒストリートを整備し、平成30年3月下旬にプレオープンします。



文化芸能推進事業（予算額：約4548万円）

優れた文化芸術作品を鑑賞する機会を提供し、地域に根ざした個性豊かな市民文化の創造に努めます。また、文化芸能に親しみやすい市民参加型事業を実施し、文化芸能に対する関心・理解を深めるとともに、市民による文化活動を積極的に支援し、文化資源を活用した賑わいのあるまちづくりに取り組みます。



IV 平和と文化の発信

自治会振興費 (予算額：約829万円)

地域コミュニティを活性化する自治会への加入促進につながる支援のほか、自治会の軽貨物自動車や備品購入の助成、一般コミュニティ助成事業、地域ものづくり活動の支援を行います。



総合運動場整備事業 (予算額：約4億8582万円)

コザ運動公園にある

- ① 陸上競技場については、フィールド舗装や排水管が老朽化していることから、それらの取り換えるための改修工事を行います。
- ② 体育館については、各種イベントに対応できるよう、照明器具の増設などを行います。
- ③ 投球練習場については、既存の施設が手狭であるため、規模を拡張するための改築工事を行います。



IV 平和と文化の発信

平和行政推進事業（予算額：約1198万円）

沖縄戦の悲惨な体験や教訓を風化させることなく、後世に平和な未来を受け継ぐために以下の取り組みを行います。

- ・『平和』をテーマに写真を募集する「市民の眼・平和写真展」
- ・各中学校から推薦された中学生16名と公募によって選ばれた社会人3名を平和大使として認定する「平和大使研修」
- ・市民団体等と共に実施する「平和月間企画展（8月1日から9月7日まで）」
- ・折り鶴に願いを込めギネス記録に挑戦する「折り鶴プロジェクト」
- ・平和大使の活動やコンサート等を通して平和を発信する「沖縄市民平和の日記念行事（9月7日）」
- ・平和について学ぶ座学や、市内の戦跡等をガイドと共に巡る「市民平和講座」
- ・沖縄市平和イメージキャラクターソテツの妖精『キューナ』による地域や学校等への平和発信活動



V 都市基盤の整備と環境との調和

地域防災対策事業 (予算額：約7772万円)

各種災害から市民の生命財産を守るため、災害に強いまちづくりを推進します。

地震や津波、各種災害、防災等に関する情報を市民に迅速・的確に伝える手段の一つとして、防災行政無線の整備に取り組んでいます。

また、地震・津波災害に備え、災害用備蓄品（食糧、飲料水等）の更新整備や、指定緊急避難場所と指定避難所の指定箇所について見直しを行います。

地域防災力強化と防災意識の高揚を図るため、自主防災組織の結成及び育成を推進し、防災資機材の整備を行います。

炊き出し訓練



避難訓練



防災訓練の実施

消火訓練、救出・救護訓練、避難訓練、炊き出し等の訓練。

いざという時に落ち着いて、的確な行動ができるように災害を想定した防災訓練を実施。



V 都市基盤の整備と環境との調和

公園整備事業（予算額：約6億9896万円）

人口が集中した街の中に造る公園を都市公園といい、その公園の整備を行います。

公園整備は、自然を保護することで動植物を保全することや季節の変化による美しい景観を創りだすこと、地震等の災害時の避難場所を確保すること、都市住民の健康づくりや休養、憩いの場、遊びの場を造ること等を目的として行っています。

平成29年度は、宮里第一公園及び海中道路跡都市緑地などの整備を行います。



山里第一地区市街地再開発促進事業

（予算額：約2414万円）

山里第一地区は、国道330号と県道24号線が交差する山里三叉路の一角に位置しています。地区内は老朽化した住宅が密集し、道路も狭く、生活環境および火災等の防災面にも課題があります。このため、高層建築物に建て替えを行い、住宅や商業施設、広場等を整備し安全で快適なまちに寄与する事業です。



V 都市基盤の整備と環境との調和

中の町地区土地区画整理事業 (予算額：約3975万円)

中の町地区土地区画整理事業は、幅が狭く行き止まりとなる道路が多いため、生活面で不便となっている住宅街の改善を目指して、地区内の道路整備、建物を建てる土地（宅地）の整理を行います。ミュージックタウンに隣接してゲート通り沿いに位置する住宅と店舗が混在した地区であるため、中心市街地の商業活性化につながるよう取り組みます。



安慶田地区土地区画整理事業

(予算額：約1億8240万円)

安慶田地区土地区画整理事業は、幅が狭く行き止まりとなる道路が多いため、生活面で不便となっている住宅街の改善を目指して、地区内の道路整備、公園の配置、建物を建てる土地（宅地）の整理を行います。



V 都市基盤の整備と環境との調和

泡瀬市営住宅建替事業（予算額：約2億1238万円）

約40年前に建てられ、古くなった泡瀬市営住宅の建替事業です。色々な家族構成に対応できる、安心安全な住宅を提供できるように計画していきます。

<事業概要>

- (1) 住宅建設：約132戸（全体数）
- (2) 事業期間：平成29年度～
平成33年度



安慶田市営住宅建替事業（予算額：約7億618万円）

約40年前に建てられました安慶田市営住宅は、新しい安慶田市営住宅へと順番に建て替えを行っています。今回最後の建て替え工事を行います。

<事業概要>

- (1) 住宅建設：約198戸（全体数）
- (2) 事業期間：平成23年度～
平成30年度

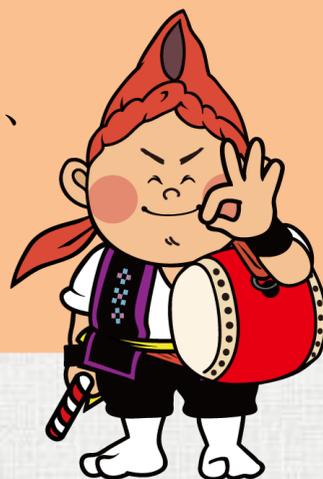


6. よさんが分かった♪

ここまで来れば君も予算が分かった！よね？
難しくて、ややこしそうな「予算」だけど、
中身をのぞいてみると、とっても大事なもののな
んだってことが分かったはず。

市民のみんなから預かったお金が「予算」に
なって、学校や道路、公園を作ったり、家から
毎日出るごみを集めたり、災害や火災から守っ
ているんだ。

だから、これからも自分たちが負担したお金
が、何に使われているのかをちゃんと知って、
これから自分たちが何に使いたいの
かをみんなで決めていこう！そして、
自分たちの住むまちを、もっと安全
で住みやすいまちにしていこう♪



でーじわかりやすい！ よさんのはなし

発行：沖縄市企画部財政課

〒904-8501 沖縄市仲宗根町26番1号

TEL：098-939-1212

FAX：098-934-3830

URL：<http://www.city.okinawa.okinawa.jp>